

# 堺市消費生活協議会のあゆみ

---

## 堺市消費生活協議会設置

戦後、復興活動に力を注ぎ、また、不当な公共料金の値上げや原水爆への反対運動を積極的に行っていた堺市女性団体協議会は、1960年代に入り、高度成長期の負の遺産である公害やごみ問題を解決し、合理的、安全安心な市民生活を実現するため、「新生活運動」「消費者運動」を展開した。さらに、より一層の「消費生活」の向上をめざし、その拠点となる設置を要望しつづけた。

1973年、長年にわたる献身的な活動と要望が実り、堺市立消費生活センターが開設され、1974年には消費生活の番人となるべく堺市消費生活協議会を結成した。

## 1970年代

### 主な活動

- ・発泡スチロールトレイの全廃をスーパーへ要望（1978年）
- ・原子力発電の安全性への不安高まる（1979年）
- ・石油等物資に関する行政との懇話会（1979年）
- ・物価110番開設（1979年）

### 1973年 堺市立消費生活センター開設

### 1974年 堺市消費生活協議会結成



堺市消費生活協議会 会長 山口彩子(当時)

- ・不要品あっせん会（毎週月曜日開催）  
「もったいない」の消費者意識から、当時の役員が中心となり、毎週大繁盛だった。  
→平成9年に発展的解消

### 推進していた活動

- ・AF2（殺菌剤）入り追放運動
- ・照射じゃがいも反対運動
- ・OPP添加柑橘類、サッカリンの使用 認可取り消し
- ・過酸化水素（漂白剤）に発がん性ありと発表
- ・合成洗剤不買運動

## 1980年代

- ・ 過大包装追放、発泡スチロールトレーの自粛量販店との懇談会、要望書提出（1982年）
- ・ トレー包装懇談会（1983年12月）
- ・ 豊田商事事件 消費者被害届 現物まがい商法急増（1985年）
- ・ トレー包装について量販店と懇談会（1986年）
- ・ 地球環境保全の関心高まるフロンガスでオゾン層の破壊（1989年）
- ・ 環境を考える、消費者と量販店と行政の懇談会（1989年）

1982年

過大包装追放、発泡スチロールトレーの自粛  
量販店との懇談会、要望書提出

### 要旨

- ・ トレー包装の問題 ・ 省資源 ・ ゴミの量が増える
- ・ 商品の中身がわからない ・ 包装経費を押しつけられる



1983年12月 トレー包装懇談会

- ・ 土物野菜 不必要なトレー包装が多い



1985年 豊田商事事件 消費者被害届 現物まがい商法急増

- ・消費者被害届出運動を堺東駅頭等にて行う。
- また、有害添加物の規制緩和に対する反対運動も同時に行う



1986年  
量販店との懇談会

- ・物価モニター、物価調査に基づく要望



業界者と消費者が懇談会

「コンビニをなくすな、節約五十八人が参加。まず、消費者がトレー包装を脱し、必要のないトレー包装を脱し、価格を下げよう」と、堺市内のスーパー、八百屋が業界者と消費者との懇談会が十八日、堺市北花前二丁の市立消費生活センターで開かれ、業界側から十七日十八日、平均八...

「食品の違反が明らかになった。あるスーパーでは十八高目の違反、トレー包装がなかったという。」

「これに対する音は、一連地販で、トレーパックのまま送られてくることが多い。つべね、消費者が自ら検査して、と音出し、のこりに使っている。」

「消費者が自ら検査して、と音出し、のこりに使っている。」

「消費者が自ら検査して、と音出し、のこりに使っている。」

「消費者が自ら検査して、と音出し、のこりに使っている。」

トレー包装追放へ

1989年

## 環境を考える、消費者と量販店と行政の懇談会

(量販店 18 店 21 名、百貨店 2 名、行政 5 名、消費者 81 名)



### ・トレー調査報告 行政側ゴミの実態

1日平均 3.5 枚 堺市の世帯数 266,474 (戸)  $\times$  3.5 (枚) = 932,659

1日約 100 万枚のトレーがゴミとして捨てられている。

大気汚染、高熱のため炉がいたむ。

## 1990年代

- ・ ゴミと環境を考える第9回懇談会（1990年3月）
- ・ 牛乳パック、アルミ缶回収開始（1990年）
- ・ 牛乳パック回収常設ボックスを量販店に設置要望。（1991年）
- ・ 「環境バッグ」作成（1992年）
- ・ はみ出し自動販売機等道路不法占有物について、堺市道路管理課に要望（1992年）
- ・ 牛乳パック、アルミ缶回収報告と懇談会（1993年）
- ・ 青果物生産地表示実態調査（スーパー、百貨店、一般小売店）（1993年）
- ・ 牛乳パック、アルミ缶回収5周年。業者、行政、消費者の3者シンポジウム（1995年）
- ・ 「ストップ・ザ・ダイオキシン」量販店と消費者と行政の懇談会  
ダイオキシン濃度堺市ワースト1にダイオキシン発生防止要望書提出（1997年）
- ・ 介護保険認定申請スタート 介護保険について学習会（1999年）

### 1990年3月 ゴミと環境を考える第9回懇談会

- ・ プラスチックトレイは、近代科学が生んだ画期的な容器だと、飛び入り参加した業者が発言するハプニングが発生
- ・ 今回の懇談会も平行線をたどるような話し合い。私たち消費者は今後改善されるまで運動を続ける。



1990年

## 牛乳パック、アルミ缶回収開始

堺市は昭和61年頃から急激にゴミが増加。  
焼却能力がパンク状態になりかねない。  
ゴミ減量に協力を呼びかける。



牛乳パックの回収 女性センターにて



アルミ缶の回収

### ・ 私たちに何ができるか？ できること

堺市内の量販店、百貨店に呼びかけ、交渉する。

スーパーの店頭で1年間、毎月第1, 3土曜日、ボランティアで牛乳パックを洗って開き、乾かして30枚(1kg)束にして受け付ける。

回収協力業者 大林商店

回収収益金は1年で締め、1円残らず堺市緑化基金として寄付。

アルミ缶は、災害が起きた国内外へ義援金として寄付。



サティ新金岡店長との話し合い



ライフ店長との話し合い

1991年

牛乳パック回収常設ボックスを量販店に設置要望。

場所、衛生面（ゴキブリの巣になる）、整理する人件費の問題点があったが、当時スーパーダイエーの中内功さんが音頭をとり、常設ボックスが実現。



ダイエー光明池店



ダイエー梅店



ダイエー鳳店

1992年6月

「環境バッグ」作成

「ゴミは作りません・売りません・買いません」を合言葉に、現在のエコバックの先駆者的存在となる「環境を守る買い物袋」を作成。



「私は地球人」「I LOVE EARTH」と書かれたバッグ



1992年 はみ出し自動販売機等道路不法占有物について、  
堺市道路管理課に要望



1993年5月

牛乳パック、アルミ缶回収報告と懇談会

(行政、回収業者、量販店、百貨店、消費者)



毎日新聞 (平成5年) 10月16日

牛乳パック回収の  
収益金を緑化基金へ  
堺市女性団体連など  
堺市女性団体連絡協議会  
(山口彩子委員長)と同市  
消費生活協議会(会長は同  
氏)は十五日、牛乳パック  
回収運動の収益金五十九万  
九千六百四十円を同市都市  
緑化基金(事務局、堺市公  
園総務課)に寄付した。

西団体は「捨てればごみ、  
生かせば資源」を合言葉に、  
三年前から牛乳パックの回  
収運動に取り組んできた。

今回の収益金は、昨年九月  
から一年間、協力を得た市  
内のスーパーや百貨店に持  
ち寄られた計九十六パックを、  
資源回収業者に買い取って  
もらったもの。三年間では  
計二百六十以上、単純計  
算で、高さ八センチ、直径十四センチ  
の樹木四千二百二十本分を節  
約したことになるという。

西団体はアルミ缶も回収  
しており、同期間で得た収  
益金百一十五万四千四百円は、  
その事務費と積み立てにあ  
てる。

1997年

## 「ストップ・ザ・ダイオキシン」 量販店と消費者と行政の懇談会

(回収協力店 16店、行政 8名、消費者 102名)



○容器包装リサイクル法が施行され、地球環境にやさしい取組をされるよう、特別の配慮をお願いする要望書を送付。

○懇談会終了後、「ストップ・ザ・ダイオキシン」のチラシを堺東駅で配り、街宣活動を行った。

私たちはダイオキシン発生防止に積極的に取り組んでいます。

ダイオキシンは、人間が作り出した最悪の毒物。ベトナム戦争で使われた史上最悪の化学物質です！

ダイオキシン 1g (1円玉) で 7万人の健康を脅かす。ダイオキシンは、がん、糖尿病、アレルギー、胎児の奇形、動物の奇形、免疫不全、遺伝子変異、さらには人間のダイオキシン蓄積から生まれる。

品名	単位	ダイオキシン含有率 (ppm)	ダイオキシン含有量 (g)
牛乳パック	1パック	0.1	0.001
牛乳	1リットル	0.1	0.001
牛乳パック	1パック	0.1	0.001
牛乳	1リットル	0.1	0.001
牛乳パック	1パック	0.1	0.001
牛乳	1リットル	0.1	0.001
牛乳パック	1パック	0.1	0.001
牛乳	1リットル	0.1	0.001
牛乳パック	1パック	0.1	0.001
牛乳	1リットル	0.1	0.001

ゴミ減量には平成2年(1990年)から牛乳パックを回収し、その収益金を堺市の緑化基金に寄付しています。

ダイオキシンは最も悪毒な物質のひとつで、がん、糖尿病、アレルギー、胎児の奇形、動物の奇形、免疫不全、遺伝子変異、さらには人間のダイオキシン蓄積から生まれる。

母乳を安心して与えられる環境をつくらう！

## 2000 年代

- ・消費生活協議会 会長 山口典子就任（2001 年）
- ・国土交通大臣表彰（2001 年）
- ・地球環境問題に取り組む 講演会「地球が大へんだ」（2002 年）
- ・地域環境保全功労者表彰（2002 年）
- ・食品安全に関する不安（2003 年）  
鶏インフルエンザ 浅田農産へ抗議声明を送付アメリカで BSE 発生 牛肉の輸入停止
- ・高齢者を狙った悪質商法多発（2005 年）  
オレオレ詐欺、リフォーム工事等の注意を呼びかける。
- ・第 1 回安全安心うまいもの市開催（2007 年）以降、毎年未開催
- ・消費者問題国民会議堺市大会 山口典子会長がパネラーとして出席（2008 年）
- ・食の安全安心を裏切る「三笠フーズ」（2008 年）  
「農林水産大臣」「消費者行政担当大臣」に抗議文送付。  
堺東駅前での抗議、ピラ 3000 枚配る。

### 2001 年 国土交通大臣表彰

堺市のゴミ減量と、地球環境保全、資源保護の目的で始めた牛乳パック回収が 11 年目で緑化基金が 500 万円以上に達し、その業績が認められ、国土交通大臣より感謝状を東京日比谷公会堂で受けた。



## 2002年 地球環境問題に取り組む 講演会「地球が大へんだ」

一人ひとりの温暖化対策 省エネルギー、エコライフチェック  
環境問題に関する講演会、学習会、見学学習会を重ね、活動した。



## 2002年 地域環境保全功労者表彰

6月5日環境の日にちなみ、環境問題に関する  
取組として評価された。



# 2005年 高齢者を狙った悪質商法多発

頻発するオレオレ詐欺、リフォーム工事詐欺への注意を喚起し、その実態を調査。

2005年 7月15日

## 説明会 不当販売（商法）実態調査について

消費生活センター

堺市消費生活協議会、堺市女性団体協議会両団体の会員に2,000人を対象に実態調査用紙を配布しました。調査についての説明会を今夏連日暑さが続いている中を多勢参加いただき熱心に説明を聞かれました。

調査期間：7月1日から9月末まで、訪問、電話の勧誘があれば調査用紙1件ご  
 定な時間にかかって来る電話や訪問には大へん迷惑しています。  
 者を守るため、ご協力下さい。



消費者を守るために！

### 不当販売（商法）実態調査について

堺市消費生活協議会  
 堺市女性団体協議会  
 代表 山口典子

\*はじめに\*  
 みなさまこんにちは  
 最近も、インターネットなど新しいメディア媒体によって、わたしたちの生活も益々便利になってきましたが、その一方で消費者をだます悪質な販売による被害者件数が急激に増加しています。とくに、ひとり暮らしの方や高齢者、女性をターゲットにした様々な商法にひっかかってしまったという相談も本市の消費生活センターに寄せられ、平成15年度で8,700件という数にのぼっています。そこで、今回これらの不当販売が、いつ・どこで、どのように行われているか、その企業名等も明らかにした上で、消費者を守るための対策を講じる必要が生じて参りました。ぜひ、不当商法の実態調査にご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

### 消費者を守るための不当販売（商法）実態調査

調査主体 : 堺市消費生活協議会  
 堺市女性団体協議会  
 堺市宿院町東4丁1-27  
 事務局所在地 : 〒590-0055 堺市立女性センター内  
 TEL 072-223-0399 FAX 072-223-1666

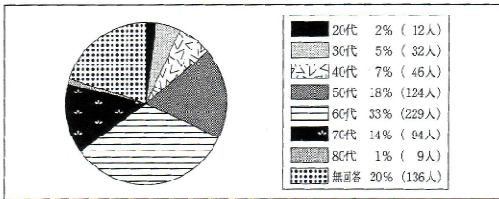
調査対象 : 一般消費者（成人対象）  
 調査標本数 : 2,000人  
 調査期間 : 2004年（H16）7月2日～9月30日  
 調査方法 : アンケート用紙の質問事項への記録と記入  
 調査地域 : 堺市内

# 不当販売実態調査アンケート結果報告を実施

2004年11月22日

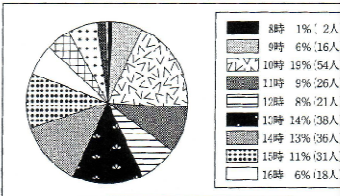
## 不当販売(商法)実態調査についてのアンケート結果報告

堺市消費生活協議会  
堺市女性団体協議会  
代表 山口典子



- その3 同居されている方の人数  
ご家族と同居: 622人 91%  
おひとり暮らし: 60人 9%
- その4 過去に不当販売(商法)の被害にあわれたことがありますか  
はいと答えた方 64名 9%
- その5 被害について 解決しましたか?  
10名 14% が 解決した  
42名 6% が あきらめた  
10名 が 無回答  
1名 が 相手先が倒産したと答えています
- その6 アポイント方法  
来訪: 556件 23%  
電話: 1,660件 69%  
その他: 180件 (郵便22件・無回答158件)

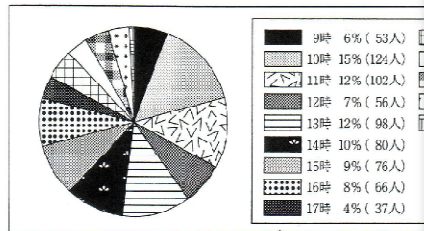
\*ちなみに時間帯は  
来訪: 10時がもっとも多く 次が13時



「するために!」をテーマに、2004年7月より9月まで3ヶ月間にわたり、協力いただき調査してまいりました不当販売(商法)実態調査のアンケート結果報告申し上げます。

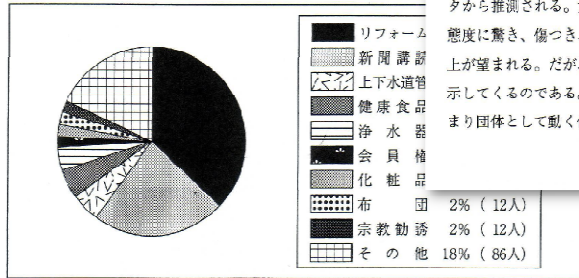
さまざまな不当販売(商法)に、被害を受けている方も寄せられています。どのような被害に遭っているのか、100人の方々を対象にご協力をお願いし、アンケート用紙を回収いたしました。ご報告いたします。

電話: 午前10時・11時が多く ついで 13時・14時



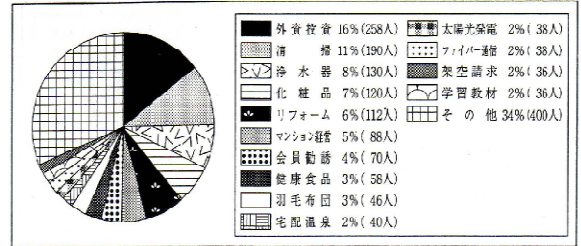
### 被害内容について

#### \* 家庭訪問販売 556件



- ・リフォームの中には 外壁/屋根/風呂/アンテナ/家屋/耐震/オール電化を含む
- ・その他の項目として 下着/洗剤/寄付/絵画/姓名判断/ちらし配り/飲食店閉店案内 などありました

#### \* 電話勧誘販売 1,660件



- ・その他の項目として (1%以下) おもなものは以下の通り (件数)  
消火器 (8) / 宝石 (8) / 内職 (18) / 土地活用 (16) / 自アリ駆除 (10) / 塾・家庭教師 (32) / 上下水道管 (18)
- ・おれおれ詐欺も6件を数えた(実被害なし)

\* 郵便22件のうち19件が架空請求でした

### まとめ

やはり、在宅時間の長い中高年齢層が狙われやすいのではないかと時間帯や年齢別データから推測される。大きな被害にあわなくとも、一方的にかかわってくる業者の無礼な態度に驚き、傷つき、憤り、振り回されてしまう私たち消費者側も、さらなる知識の向上が望まれる。だが、敵もさることながら、新しい手法の網目をくぐった手口を考え示してくるのである。私たち消費者も個々の対応はもちろん大事ではあるが、時には固まり団体として動く体制を整えておくことも大切でないでしょうか。

## 2007年 第1回安全安心うまいもの市開催

### ・「野菜廉売市」から「堺発！安全安心うまいもの市」へ

「野菜廉売市」は堺市の農業の育成と、消費生活安定の為、農協や野菜振興会、そして堺市の協力を得て、1977年から1983年迄金岡団地の空き地や校区の公園において青空市場形式で、その後1984年から2006年迄、女性センターのピロティで開催し、新鮮な野菜の提供が消費者に大変好評を得ていました。

2007年、相次ぐ食品偽装など食品の安全が脅かされる社会情勢をうけ、消費生活協議会は「食の安全安心探検隊」を結成し、全国各地から自らその安全性と味を確認した食品を集め、また、地産地消のため堺市内からもさまざまな食品を厳選し、「野菜廉売市」をバージョンアップした「堺発！安全安心うまいもの市」を堺市役所市民広場において開催した。（現在にいたるまで、5回開催している）



# 2008年 消費者問題国民会議堺市大会

パネルディスカッション

「消費者、生産者の視点で考える 製品の安全とは？ 食の安全とは？」

山口典子会長パネラーとして出席



～活かそう 消費者・生活者の視点～  
**消費者問題国民会議 2008堺市大会**

◆記念講演「製品安全とは？～消費者・生活者の視点から」  
 片山 登志子さん(弁護士)  
 大阪府国土食消費者保護委員会委員(平成19年度委員長)  
 特定非営利活動法人消費者支援協議会(KO's) 副理事長  
 特定非営利活動法人消費者ネット関西 専務理事

◆パネルディスカッション  
 「消費者・生活者の視点で考える 製品の安全とは？ 食の安全とは？」  
 コーディネーター：藤原 俊次さん (京都産業大学大学院法務研究科教授)  
 パネリスト：片山 登志子さん(弁護士)  
 山口 典子さん (消費者代表 堺市消費者生活協議会 会長)  
 前田 寛司さん (事業者代表 前田製菓株式会社 取締役社長)  
 野中 哲昌さん (独立行政法人製品評価技術基盤機構 理事)  
 堀田 繁さん (内閣府大臣官舎審議官)

◆消費者支援功労者表彰

とき **2008年5月27日(火)**  
 13:00～16:40

ところ **サンクエア堺B棟ホール**  
 堺市東区田井町2-1  
 (JR阪和線「堺市駅」下車 徒歩200m)

参加費 **無料**  
 参加ご希望の方は電話、FAXまたは  
 FAXに氏名・連絡先をご記入の上、  
 下記問い合わせ先にお申込ください。  
 ※手配満員有

【主催】内閣府・堺市  
 【問い合わせ先】堺市立消費生活センター 〒590-0078 東区東区七瓦町2-4-16 消費生活センター  
**TEL 072-221-7146 FAX 072-221-2796**

**5月は消費者月間です**  
**悪質商法追放キャンペーン**

悪質な訪問販売等はきっぱりと断りましょう

「ささと断っておくれませんか！」  
 「人をだませと教えしか」

消費者月間では、断っている消費者にしっかりと契約を結ぶ機会に臨むだけでもよいのです。

**No**



# 2008年 食の安全安心を裏切る「三笠フーズ」

- ・「農林水産大臣」「消費者行政担当大臣」に抗議文送付。  
 堺東駅前で抗議、ピラ 3000 枚配る。



農林水産大臣  
島村 宣伸様

厚生労働大臣  
尾辻 秀久様

米国产牛肉輸入再開差し止めの要望決議

貴省におかれましては、国民の健康を守るために、食品の安全確保についてご尽力頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

私たち堺市消費生活協議会は、消費者団体として昭和25年以来、消費者問題に取り組み、環境問題におきましても、全国に先駆けてリサイクル運動を展開して参りました。

さて、去る5月12日、農林水産省は、生後20ヶ月以下の若齢牛を検査の対象外とすることを認めた国内食品BSE対策の見直しを食品安全に関する小委員会で説明され、了承されています。このことにより、まもなく、米国产牛肉の輸入再開に向けた諮問がなされると思いますが、国内でもす

食品安全委員会 委員長 寺田 雅昭 様  
米国产牛肉輸入再開  
貴委員会に  
を守るために  
尽力頂いて  
上げます  
体として  
先駆け

## 2010 年代

- ・緑化基金への寄付が21年間で9,790,500円に達した(2011年)
- ・東京電力福島原子力発電所の爆発により、放射能汚染が、大気や土壌、人、農水畜産物に不安を与えた。(2011年3月)  
消費者団体が原発学習会を行い、電気料金の値上げや、原発に替わる再生可能エネルギーについて運動していく。
- ・原発についての学習講演会(2011年7月21日)
- ・電気料金について学習会を開催(2011年7月29日)
- ・鶏インフルエンザ 浅田農産へ抗議声明を送付アメリカでBSE発生 牛肉の輸入停止(2011年)

平成23年 21年間で緑化基金9,790,500円寄付



第21期 牛乳パック・アルミ缶期別回収 集計表

牛乳パック・アルミ缶		牛乳パック		アルミ缶	
回収期別		回収量 kg	収益金(円)	回収量 kg	収益金(円)
第1期	1990年9月～1991年8月	25,090	250,920	1,196	119,640
第2期	1991年9月～1992年8月	82,890	828,900	6,456	349,750
第3期	1992年9月～1993年8月	96,380	599,640	20,034	1,010,540
第4期	1993年9月～1994年8月	94,540	575,280	27,216	1,043,300
第5期	1994年9月～1995年8月	86,450	518,700	25,750	925,600
第6期	1995年9月～1996年8月	74,090	444,540	17,730	533,150
第7期	1996年9月～1997年8月	72,930	437,580	16,100	587,400
第8期	1997年9月～1998年8月	75,540	453,240	10,810	324,300
第9期	1998年9月～1999年8月	78,370	470,220	7,710	231,300
第10期	1999年9月～2000年8月	80,530	483,180	8,180	245,400
第11期	2000年9月～2001年8月	76,050	456,300	4,640	139,200
第12期	2001年9月～2002年8月	67,350	404,100	7,360	220,800
第13期	2002年9月～2003年8月	67,650	405,900	7,610	228,300
第14期	2003年9月～2004年8月	68,940	413,640	7,980	305,400
第15期	2004年9月～2005年8月	63,790	382,740	8,260	413,000
第16期	2005年9月～2006年8月	71,770	430,620	7,770	403,100
第17期	2006年9月～2007年8月	65,650	392,080	5,890	325,400
第18期	2007年9月～2008年8月	62,360	425,800	3,935	236,100
第19期	2008年9月～2009年8月	61,160	489,280	3,480	92,500
第20期	2009年9月～2010年8月	55,520	444,160	4,070	133,900
第21期	2010年9月～2011年8月	54,050	483,680	4,370	174,800
合計		1,481,100	9,790,500	206,547	8,042,880

牛乳パック・アルミ缶  
回収施設及び協力店

- ・堺市立女性センター
- ・堺市立消費生活センター
- ・ダイエー  
(津久野店・おおとり店・梅店・北野田店・光明池店)

牛乳パック回収協力店

- ・高島屋(堺店・泉北店)
- ・イトーヨーカドー  
(津久野店・鳳店)
- ・イズミヤ(阪和堺店・百舌鳥店)
- ・デイリーカナートはやし
- ・ライフ(深井店・北野田店・城山台店・初芝店・百舌鳥店・石津店)
- ・西友福田店
- ・近商ストア東湊店
- ・バラエティショップエース鳳
- ・フレスコ新金岡
- ・サティ新金岡店
- ・万代金岡店
- ・パスト堺東店
- ・フードストアエコカナタ
- ・阪急堺北花田店
- ・ジャスコ堺北花田店
- ・エース新鮮館南海堺店
- ・サンプラザ  
(三国ヶ丘東店・北野田店・泉ヶ丘店)
- ・サンエイ新檜尾台店

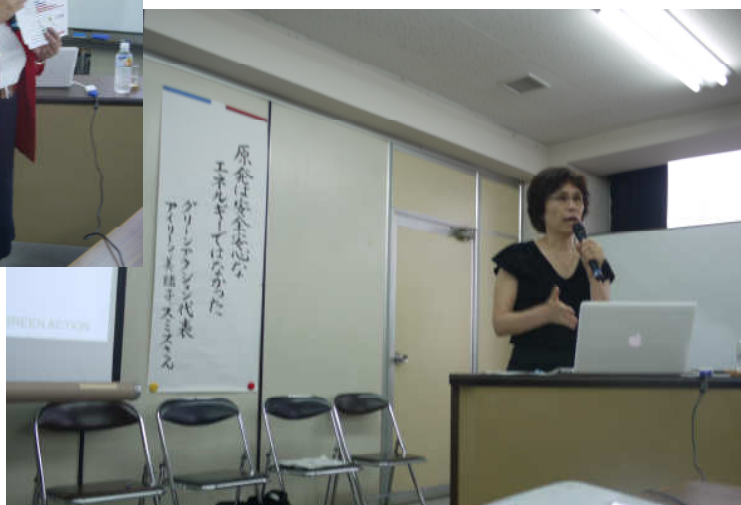
その他 あすか保育園

## 2011年7月21日 原発についての学習講演会

原発は安全なエネルギーではなかった。

電気料金と原発の関係 安全なエネルギー政策への転換

消費生活協議会結成から36年、当協議会は消費者の生命（いのち）と暮らしを守る取組として活動を続けていく。



グリーンアクション代表 アイリーン・M・スミスさん

## 2011年7月29日 電気料金について学習会を開催



全大阪消費者団体連絡会 事務局長 飯田秀男さんによる講演